

阿部誠一郎君 用があり早退します。よろしく御願います。

本間茂男君 23日ゴルフコンペでペリア優勝しました。

稲田憲治君 最近、米山さんの口グセ、／「まだ足りない、まだ足りないもっと、もっと、／」こんな言葉、夜だけにして欲しい。ニコニコBOX、大変ですね、／

梨本清一君 お陰さまで「全国良寛会」も無事終わりました。皆様方のご声援に心から感謝申し上げます。

馬場直次郎君 国民金融公庫三条支店の卓話を楽しみにしています。

笹原勝治君 本日、出張のため欠席、申し訳ありません。佐藤支店長に感謝して。

ロータリー財団：

江口悟君 5月16日次男が生まれました。

米山奨学：

梨本清一君 ブルネイという国から日本人と結婚していま味方村に住んでいるご婦人の話を聞きました。「国際交流をする前に日本人の意識の改革を、／」と彼女は叫んでいました。

吉川吉彦君 米山奨学へ年金。

卓 話： 「統計から見た新潟県」国民金融公庫三条支店支店長 佐藤 勝殿



新潟県を出て22年振りに帰ってまいりまして、新潟県がどうなったか数字のお遊びでございまして統計から見て新潟県はどんなところかをまず最初にお話しさせて致します。新潟県といいますと方言の「い」と「え」の区別がつかない事は皆様も周知の通りでございまして。前日ワープロを打っていましたが辞書を片手にして打ち込みをしなければならずこの方言では22年間新潟に住まなかったがやはり新潟県人だなとワープロを打った時に思い出します。新潟県の気質は非常に融通のきかない、手をぬかない、一徹な愚直さと言われています。その裏がえしが手をぬかないねばり強さという事でして新潟の長い冬の気候を耐えぬねばり強さと一般的には言われています。統計的にみて新潟県はどうなっているかと申しますと、まず自然環境から経済基盤を受けて家計の具合はどんな風になっているのかをお話しさせて致します。新潟県の面積は全国で第5位です。1位は北海道で私がかつて北海道の旭川に勤務していた時の管轄は四国一島の広さを一つの店で担当した事でもこの広さがお判かりと思います。第2位が岩手県、第3位は福島県、4位は長野県でございまして。反対に小さいのは大阪、四国の香川、そして沖縄です。次に森林面積になりますと、新潟県は田んぼが多いせいでしょうか、47都道府県の31位でございまして森林面積は非常に少なくなっております。その中でも南蒲原郡の下田村は森林面積の方が圧倒的に多くなっていますが平野部が多いので全国でも31番目になっております。そして当然自然公園の割合はそれに伴って多く全国の第15位でかなり自然公園の面積は広く県民生活に寄与しているわけで

す。又家住面積いわゆる国の住む面積は全国で17位でございますので自然環境の内の面積に関しては新潟県はまず上位に位置しております。気象状況は年の平均気温は全国で37位で55年には12.9度、60年13.4度、62年13.9度と毎年平均気温は上昇しております。ちなみに一番高いのは沖縄、次に鹿児島、宮崎、長崎で次が高いのは九州地方でなくてなんと大阪が5番目に入ります。低いのは北海道で55年が7.9度、60年が8.3度、62年が8.2度で少々ばらつきはありますが地球の温暖化の現象が判かります。又快晴日数（雲が24時間10%以下）は55年、60年、62年、41位、43位、41位で全国でも少なく62年では快晴の日は17日しかございませんでした。一番多いのは埼玉県です。2位は静岡、3位は群馬、4位は千葉5位は高知です。又快晴日数の一番少ないのは沖縄です。南国はスコールなどあって雲が10%以上出るのでしょいか、快晴日数が少なくなっている様です。一位の埼玉県は年間69日で沖縄はたった6日間です。沖縄をのぞけばだいたい日本海側の東北方面がお天気恵まれていないと判断出来ます。日照時間は全国で41位です。1番は山梨県、2位群馬3位四国の徳島高知の順です。一番少ないのは秋田、青森、山形、富山、北海道の方は恵まれていません。1位と2位の差は年間700時間位あり新潟県は1700時間で41位です。降水量は19位です。この様な気候の中で生活している我々ですが全国の総人口に占める新潟県の人口総数の割合は14番目で全国の2.02%を占めております。1位は東京の9.68%、大阪は7.13%3位は神奈川で6%でこの三県で四分の一強を占めている状況です。一番少ないのは鳥羽、島根、福井の順で島根は全国の0.5%です。生産年齢別（15～64才）では新潟県の人口は14位で生産年齢が33位ですので比較的年寄りが多い割合になって、ヤングがだんだん減少して求人倍率にひびいているのではないのでしょうか。又出生率は29位、死亡率は22位でだいたい均等がとれていまして転入転出での転入率は46位で下から2番目で転出率は46位であり移動がなく結構住みやすいのかなと思われます。婚姻数はヤングが少ないせいでしょうか44位で離婚率は47位で日本一離婚の少ない県と言えましょう。逆に離婚率の一番高いのは沖縄で3位福岡、大阪高知の順となって南国が多いのですが2位のところに北海道が入っています。私は北海道に住んでいましたのでわかるのですが北海道の人は非常に自立心が高く、明治時代に全国より入っているの割りと閉鎖的でないのでしょうか、女性の自立心が高いので第2位に入る理由でしょうか。次に経済基盤に入ると所得、貯蓄額を見ますと県民一人あたりの所得は55年、60年、62年26位、25位、26位となっており一人平均2,086,000円で全国平均は2,300,000、トップは東京で3,450,000位で、次に大阪、神奈川、愛知、滋賀で日本列島の中央に位置しています。少ないのは沖縄で1,688,000で青森、長崎、宮崎の順で青森をのぞいて南の方が所得が少なくなると県民一人あたりの貯金残高は新潟県は27位で3,850,000、全国平均は5,070,000で1位は東京12,800,0002位大阪3位香川、京都、愛知とさきほどの所得とだいたいシフトされています。一番少ないのは沖縄で2,480,000円、青森、宮崎、秋田、鹿児島と少ないのは南と北にわかれております。学校教育面で見ますと、まず進学率での中学から高校の率は新潟県23位で、95.6%が中学を卒業して高校に進学しています。一位は富山2位山形、長野、山口、大分となつてさき程の所得と矛盾している様に見えます。低いのは沖縄、愛知、高知、埼玉の順です。しかし高校から大学への進学率を